

# 医療システム部会 全体活動報告

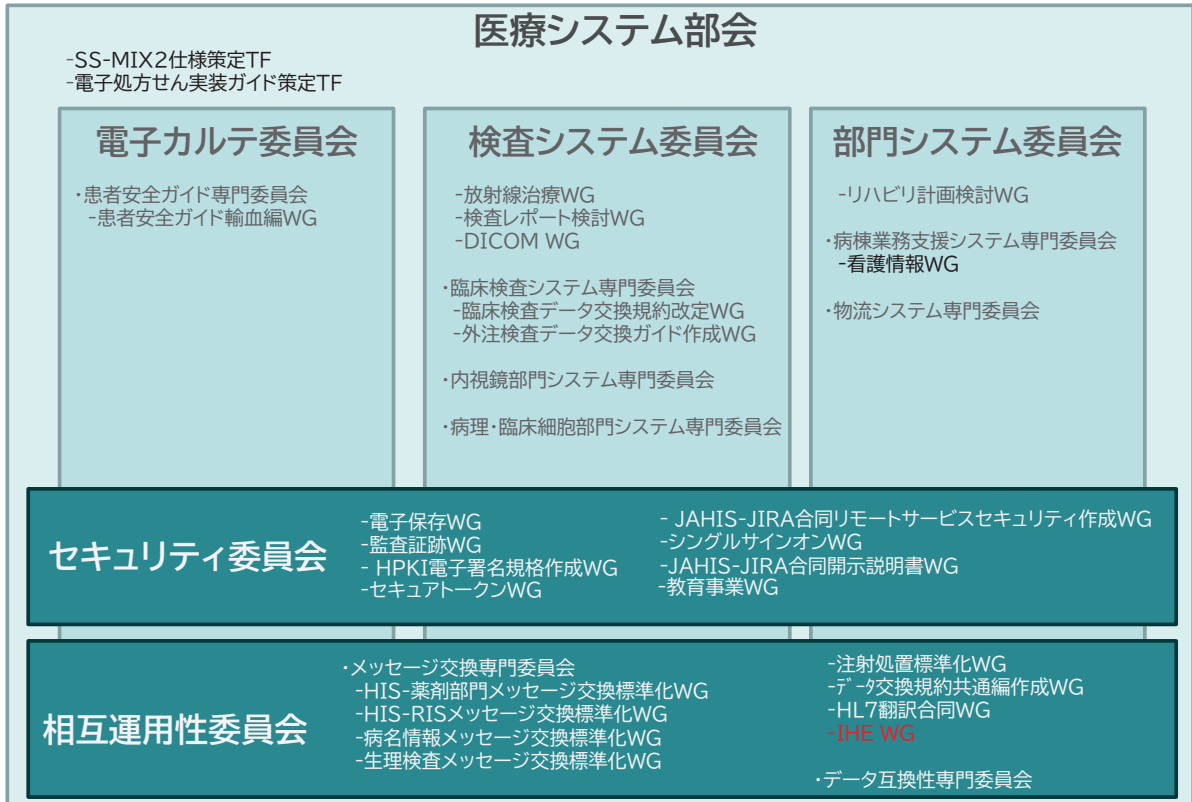
## 目次

・体制	・・・	2
・電子カルテ委員会	・・・	10
・検査システム委員会	・・・	13
・部門システム委員会	・・・	16
・セキュリティ委員会	・・・	22
・相互運用性委員会	・・・	25

2022年2月25日  
医療システム部会  
副部会長 真壁 光男

© JAHIS 2022

## 体制



横串機能

部会・委員会名	役職名	氏名	会社名
医療システム部会	<b>部会長</b>	<b>桑原 裕哉</b>	<b>富士通Japan(株)</b>
〃	<b>副部会長</b>	<b>真壁 光男</b>	<b>日本電気(株)</b>
〃	<b>副部会長</b>	<b>湯澤 史佳</b>	<b>キャノンメディカルシステムズ(株)</b>

部会・委員会名	役職名	氏名	会社名
-SS-MIX2仕様策定TF	リーダー	木村 雅彦	日本アイ・ビー・エム(株)
-電子処方箋実装ガイド策定TF	リーダー	木村 雅彦	日本アイ・ビー・エム(株)
電子カルテ委員会	委員長	井上 貴宏	富士通Japan(株)
〃	副委員長	新垣 淑仁	日本電気(株)
〃	副委員長	根来 亮介	(株)ソフトウェアサービス
〃	<b>副委員長</b>	<b>太田 聡司</b>	<b>富士通Japan(株)</b>
・患者安全ガイド専門委員会	専門委員長	坂西 裕	富士通Japan(株)
-患者安全ガイド輸血編WG	リーダー	坂西 裕	富士通Japan(株)

部会・委員会名	役職名	氏名	会社名
検査システム委員会	委員長	湯澤 史佳	キャンメディカルシステムズ <sup>®</sup> (株)
〃	副委員長	近藤 恵美	シスメックスCNA(株)
〃	副委員長	福重 二三男	富士通Japan(株)
〃	副委員長	龍田 岳一	富士フイルム(株)
- 放射線治療WG	リーダー	今井 高文	富士フイルム医療ソリューションズ <sup>®</sup> (株)
- 検査レポート検討WG	リーダー	越後 洋一	日本光電工業(株)
- DICOM WG	リーダー	村田 公生	富士フイルム(株)
〃	サブリーダー	渡邊 克也	PHC(株)
・臨床検査システム専門委員会	専門委員長	福重 二三男	富士通Japan(株)
- 臨床検査データ交換規約改定WG	リーダー	千葉 信行	(株)エイアンドティー
- 外注検査データ交換ガイド作成WG	リーダー	川田 剛	(株)NTTデータ
・内視鏡部門システム専門委員会	専門委員長	龍田 岳一	富士フイルム(株)
・病理・臨床細胞部門システム専門委員会	専門委員長	近藤 恵美	シスメックスCNA(株)
〃	副専門委員長	鈴木 昭俊	(株)ニコン

部会・委員会名	役職名	氏名	会社名
部門システム委員会	委員長	金子 正和	富士通Japan(株)
〃	副委員長	岡本 重敏	富士通Japan(株)
〃	副委員長	木戸 須美子	キャンメディカルシステムズ <sup>®</sup> (株)
-リハビリ計画書検討WG	リーダー	金子 正和	富士通Japan(株)
・病棟業務支援システム専門委員会	専門委員長	木戸 須美子	キャンメディカルシステムズ <sup>®</sup> (株)
〃	副専門委員長	安藤 智昭	(株)ケアコム
-看護情報WG	リーダー	汐崎 弘子	日本電気(株)
・物流システム専門委員会	専門委員長	岡本 重敏	富士通Japan(株)
〃	副専門委員長	後藤 孝周	PHC(株)

部会・委員会名	役職名	氏名	会社名
セキュリティ委員会	委員長	茗原 秀幸	三菱電機(株)
〃	副委員長	梶山 孝治	富士フィルムヘルスケア(株)
〃	副委員長	近藤 誠	日本電気(株)
-電子保存WG	リーダー	近藤 誠	日本電気(株)
-監査証跡WG	リーダー	西田 慎一郎	(株)島津製作所
-HPKI電子署名規格作成WG	リーダー	有馬 一閣	(株)NTTデータ
-JAHIS-JIRA合同 リモートサービスセキュリティ作成WG	リーダー	松本 義和	サイバートラスト(株)
-セキュアトークンWG	リーダー	谷内田 利義	(株)リコー
-シングルサインオンWG	リーダー	山岡 弘明	富士通Japan(株)
-JAHIS-JIRA合同開示説明書WG	リーダー	下野 兼揮	(株)グッドマン
-教育事業WG	リーダー	村田 公生	富士フィルム(株)

部会・委員会名	役職名	氏名	会社名
相互運用性委員会	委員長	木村 雅彦	日本アイ・ピー・エム(株)
〃	副委員長	中田 英男	日本電気(株)
〃	副委員長	窪田 成重	富士通Japan(株)
・メッセージ交換専門委員会	専門委員長	中田 英男	日本電気(株)
〃	副専門委員長	平井 正明	日本光電工業(株)
-HIS-薬剤部門メッセージ交換標準化WG	リーダー	窪田 成重	富士通Japan(株)
-HIS-RISメッセージ交換標準化WG	リーダー	塩川 康成	キャノンメディカルシステムズ(株)
-病名情報メッセージ交換標準化WG	リーダー	木村 雅彦	日本アイ・ピー・エム(株)
-生理検査メッセージ交換標準化WG	リーダー	村松 和彦	日本光電工業(株)
-注射処置標準化WG	リーダー	西岡 太郎	日本電気(株)
-データ交換規約共通編作成WG	リーダー	中田 英男	日本電気(株)
-HL7翻訳合同WG	リーダー	檀原 一之	日本電気(株)
-IHE WG	リーダー	塩川 康成	キャノンメディカルシステムズ(株)
・データ互換性専門委員会	専門委員長	窪田 成重	富士通Japan(株)

部会・委員会名	役職名	氏名	会社名
医療システム部会	運営幹事	山内 俊幸	富士通Japan(株)
〃	事務局	岩本 和則	JAHIS
〃	事務局	谷口 浩一	JAHIS

## 電子カルテ委員会

- ・患者安全ガイド専門委員会
- 患者安全ガイド輸血編WG

## (1) JAHIS標準類の策定

- ・JAHIS医療情報システムの患者安全ガイド(病理編)Ver.1.0  
**JAHIS技術文書としての策定に向け作業中。**電子カルテ委員会、関連学会のレビューを行い、患者安全ガイド専門委員会にて指摘点に対する対応を実施中。
- ・JAHIS医療情報システムの患者安全ガイド(輸血編)Ver.2.1  
**日本輸血・細胞治療学会と連携し、血液製剤発注時の留意事項を追加等、技術文書の更新について作業開始予定。更新内容について学会と協議中。**

## (2) JAHIS内外に対する電子カルテ関連の情報提供・連携

- ・外部団体との研究等への参加
  - 医療機関における医療安全および業務効率化に資する医薬品・医療機器のトレーサビリティ確立に向けた研究
  - がんゲノム医療の発展に資する情報連携基盤の構築に向けた標準規格の開発研究
  - 電子カルテ連携によるHER-SYS入力効率化の影響調査及び実現可能性実証に関する専門家会議
  - 医療情報システムの安全管理に関するガイドライン 改定作業班 等
- ・関連機関からのヒアリングへの対応
  - 四次元医療改革研究会 - 電子カルテ標準化 - 電子処方箋
  - 指定難病患者DB及び小児慢性特定疾病児童等DB更改 等

## (1) JAHIS標準類の策定

- ・ JAHIS医療情報システムの患者安全ガイドの新規作成、バージョンアップを検討。
- ・ 他団体／学会と患者安全について共有／連携を図り、患者安全向上に貢献。

## (2) クリニカルパスの標準化に向けた検討

- ・ 日本医療情報学会と日本クリニカルパス学会が立ち上げた、クリニカルパスの標準化やデータ分析等を検討する合同委員会と連携し、ベンダーの立場から標準化に関する意見具申を行う。
- ・ 2021年11月にJAMI標準となったePathメッセージについて、各ベンダーにて実装するためのポイントを整理した実装ガイド等のJAHIS技術文書の制定を予定。

## (3) データヘルス集中改革プランへの対応

- ・ 医療情報を患者や全国の医療機関等で確認できる仕組み(ACTION1)については来年度に予定されている情報の拡充、電子処方箋の仕組み(ACTION2)については来年度下期の本格運用開始に向けて、それぞれが円滑に医療機関に導入され普及していくように、JAHIS他部門や関連団体と連携して意見具申を行う。

## (4) 電子カルテの標準化に向けた検討

- ・ 健康・医療・介護情報利活用検討会や医療等情報利活用WG等での電子カルテデータの利活用に向けた標準化について、厚生労働省を含めた関連各所との議論を通し、現状で対応できることや課題の整理、また、電子カルテに実装すべき機能について検討を行い、意見具申を行う。

## 検査システム委員会

- 放射線治療WG
- 検査レポート検討WG
- DICOM WG
- ・臨床検査システム専門委員会
  - 臨床検査データ交換規約 改定WG
  - 外注検査データ交換ガイド作成WG
- ・内視鏡部門システム専門委員会
- ・病理・臨床細胞部門システム専門委員会

## JAHIS 今年度の活動状況、成果

### 検査システム委員会

#### (1) JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

- ・「JAHIS内視鏡検査レポート構造化記述規約 Ver.1.0」**制定**  
HL7CDAR2に基づく「JAHIS診療文書構造化記述規約 共通編 Ver.2.0」準拠。  
**日本消化器内視鏡学会JED Projectと協力し**、その用語集をコード化、  
各医療施設から同学会DB登録への可搬フォーマットとして期待されている。
- ・「JAHIS放射線治療サマリー構造化記述規約 Ver.1.0」**パブコメ中**  
同じく「JAHIS診療文書構造化記述規約 共通編 Ver.2.0」準拠。  
**日本放射線治療学会データベース委員会と協力し**、同学会JROD (Japanese  
Radiation Oncology Database)との整合を取り、同DBのコード化、主要項目の  
可搬フォーマットとして開発中。

#### (2) 海外活動強化とJAHIS活動との連携

- ・**IHE-PaLM、IHE-Endoscopy**のWeb会議参加、スポンサー活動
- ・**DICOM対応**も、DSC、WG-13 (Visible Light)、WG-26 (Pathology) のWeb会議参加、  
4件70項目のCPack、3件のSupplementの検討と投票を実施。  
\* 3月16日投票のSupplement 1件、CPack 1件(14件の修正提案)あり。

#### (3) JAHIS内外に対する検査システム関連の情報提供・連携

- ・**JAHIS教育事業「入門セミナー」**に検査システムの教材を提供、今期も録画配信で  
検体検査、病理、生理機能検査それぞれの専門家が講師を担当。

### (1) JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

引き続き、院内及び地域連携に資する検査や治療に関するHL7やDICOMを用いた規約の開発、改訂及び普及活動の推進と検査分野での協力実施。

### (2) 海外活動強化とJAHIS活動との連携

引き続き、国内活動にグローバルトレンドを反映させるためDICOM、IHE International等の国際標準化活動への参画と、情報収集・展開強化。

### (3) JAHIS内外に対する検査システム関連の情報提供・連携

引き続き、教育事業、検査システム委員会主催セミナー等を通じ、JAHIS会員他に検査システムに関する情報提供及び連携に関する参考情報を提供。

## 部門システム委員会

- リハビリ計画書検討WG
- 病棟業務支援システム専門委員会
- 看護情報WG
- 物流システム専門委員会



## (1) 部門システムに係る課題の洗い出しと解決、標準化・患者安全施策活動の推進

### ① 部門システムの連携を促進するための課題洗い出しと解決

病院情報システムにおける様々な部門システムの状況確認を行い、システム連携の洗い出し、整理を実施しJAHIS教育事業の教材に反映した。加えて昨年引き続き、多種多様な部門システムについての類型化作業を実施した。

### ② 教育事業などを通じ部門システム関連の知識の普及活動

JAHIS教育事業に対し教材の見直しや講師派遣を通じJAHIS会員および外部受講者に部門システムに関連する情報や連携に関する参考情報を提供した。

### ③ 患者安全に関する施策活動の推進

教育事業における教材に気づきにくい電气的安全性、コロナ対応を含めた生物学的安全性に関する参考情報を掲載、啓蒙を行った。

## (2) 病棟看護業務の効率化、標準化及びその利用の推進

### ① JAHIS看護データセット適用ガイド看護行為編Ver.1.0制定

看護領域の指示・実施関連情報の相互運用性向上のため、その要求仕様を明確にし、2022年1月に表題のJAHIS技術文書を制定した。引き続き実装、及び標準化範囲の拡大を検討していく。

### ② MEDIS-DC看護実践用語標準マスタに関する検討と提言

上記技術文書策定に際して、表題のマスタの実装における課題の検討、対応策についての考察を盛り込んだ。今後、MEDIS-DCに協力して、同マスタを用いた相互運用性向上にむけての提案を行っていく予定。

## (3) 物流業務の効率化、標準化及びその利用の推進

### ①医療用資材(医薬品・医療材料など)の院内物流のICT適用モデルの考察

専門委員・GS1 Japan様(オブザーバ)より情報収集を行い、RFID標準化の現状や標準化有無について検討を実施した。

### ②院内物流の実態調査・現場情報のヒヤリングなどを通じ新たな標準化課題の模索

医療材料マスタの活用時のメリット・デメリット・工夫について医療業界で先行している国立国際医療研究センター(NCGM)に現場ヒヤリングを実施した。ガイド策定・改版に活用する。

### ③「HIS向け医療材料マスタの提供ガイド」の改定

国立国際医療研究センター(NCGM)現場ヒヤリングで得た知見を元に、ガイド改版に向けた検討を進めた。来年度の技術文書改定を目指す。

### ④「医療材料EDI標準化ガイド」の策定検討

医療材料のEDI(データによる発注・納品)の標準化に向けガイド策定のための情報収集を実施しガイドの骨格を決定した。来年度の技術文書登録を目指す。

## (4) リハビリ業務の効率化、標準化及びその利用の推進

### ①リハビリ計画書連携の標準化推進

厚労省「科学的介護情報システム「LIFE」」に関する情報共有を実施

### ②リハビリシステム業務の標準化推進

新型コロナの影響もあり、活動休止中

## (1)部門システムに係る課題抽出と解決、標準化の推進

- ・部門システムの連携を促進するための課題洗い出しと解決
- ・教育事業などを通じ部門システム関連の知識の普及活動

## (2)病棟看護業務の効率化、標準化及びその利用の推進

- ・看護情報のシステム間移行、施設間連携のための標準化
- ・病棟部門に関連したシステム連携の整理・標準化の模索

## (3)物流業務の効率化、標準化の推進

- ・「HIS向け医療材料マスタの提供ガイド」の改定・普及促進
- ・「医療材料EDI標準化ガイド(仮称)」の策定

## (4)リハビリ業務の効率化、標準化の推進、介護連携の強化

- ・リハビリ計画書連携の標準化推進
- ・リハビリシステム業務の標準化推進

## セキュリティ委員会

- 電子保存WG
- 監査証跡WG
- HPKI電子署名規格作成WG
- セキュアトークンWG
- JAHIS-JIRA合同  
リモートサービスセキュリティ作成WG
- シングルサインオンWG
- JAHIS-JIRA合同開示説明書WG
- 教育事業WG

## (1) セキュリティ関連のJAHIS標準類に対する必要に応じた改定

- ・ISOにおける関連規格の改定や厚生労働省の安全管理ガイドラインの改定などを受け、**JAHIS標準原案「JAHIS保存が義務付けられた診療録等の電子保存ガイドライン Ver.4.0」、JAHIS標準原案「リモートサービスセキュリティガイドラインVer.3.1」**を策定した。

## (2) JAHIS標準類のISO化ならびにISOのJAHIS標準への組み込み

- ・ISO27789の改定内容、DICOM規格の最新版との整合性を踏まえ、JAHIS標準**21-001「JAHISヘルスケア分野における監査証跡のメッセージ標準規約Ver2.1」**を発行した。

## (3) クラウド化、マルチプラットフォーム化への対応

- ・**18-004「JAHISシングルサインオンにおけるセキュリティガイドラインVer.2.0」**に対するFHIRやOpenIDなどの新しいアーキテクチャへの対応を行うための**改定**作業を実施した。

## (4) JAHIS標準類の啓発活動の実施

- ・事業推進部と連携した**新人教育**ならびに**地域連携セミナー**等によるセキュリティ関連標準類の啓発活動や**SDS書き方セミナー**などの実践講座による啓発活動を実施した。

## (5) 国のセキュリティ関連施策検討に対する協力

- ・厚生労働省の医療等分野情報連携基盤検討安全管理WGへのJAHISコメントのとりまとめ、パブリックコメント原案作成、**総務省事業・厚生労働省事業**への有識者派遣などを通じて国の保健医療福祉分野のセキュリティ施策検討に協力した。

## (1) セキュリティ関連のJAHIS標準類に対する必要に応じた改定

- ・ISOにおける関連規格の改定や厚生労働省の安全管理ガイドラインの改定などに対する、**JAHIS標準類のタイムリーな追従、改定**を実施する。

## (2) JAHIS標準類のISO化ならびにISOのJAHIS標準への組み込み

- ・**18-006JAHISヘルスケアPKI**を利用した**医療文書**に対する**電子署名規格Ver.2.0**についてFHIRにおいて推奨されているJSON用の長期署名フォーマットを追加する改定を実施し、その成果を**ISO17090-4(HPKI電子署名)**に反映する活動を実施する。

## (3) クラウド化、マルチプラットフォーム化への対応

- ・HPKIを用いた**電子署名**や**シングルサインオン**、MDSなど**クラウド環境**における利用を想定した改定や解説書、Q&A、テンプレート提供などを実施する。

## (4) JAHIS標準類の啓発活動の実施

- ・事業推進部と協力し、**標準化セミナー**や**解説講座**などを継続的に開催する。また、JIRAセキュリティ委員会と協力し、**JAHIS/JIRA合同セミナー**等の開催を企画する。

## (5) 国のセキュリティ関連施策検討に対する協力

- ・国の主催する各種検討会のWGや作業班にメンバーを派遣し、「**医療情報システムの安全管理に関するガイドライン**」の**改定**作業などに協力する。また、必要に応じてその他の実証事業、調査研究事業に対して協力する。

## 相互運用性委員会

### メッセージ交換専門委員会

- HIS-薬剤部門メッセージ交換標準化WG
- HIS-RISメッセージ交換標準化WG
- 病名情報メッセージ交換標準化WG
- 生理検査メッセージ交換標準化WG
- 注射処置標準化WG
- データ交換規約共通編作成WG
- HL7翻訳合同WG
- IHE WG

### データ互換性専門委員会

## JAHIS 今年度の活動状況、成果

### 相互運用性委員会

### (1) JAHIS標準類の策定

～ 策定作業中のJAHIS標準類 ～

昨年度から継続して以下のデータ交換規約に取り組み中

#### ① データ交換規約(共通編) Ver.1.3

適合性宣言書に基づく適合性の採用、HL7規格日本語見直し版への対応、コード表へのOIDの付番、被保険者証の枝番への対応、各種障害の重症度表現への対応、などを行い、年度内にJAHIS標準として**最終原案完成予定**

#### ② 放射線データ交換規約 Ver.3.2C

#### ③ 内視鏡データ交換規約 Ver.3.2C

#### ④ 生理データ交換規約 Ver.3.1C

制定後3年を経過したため、データ交換規約(共通編)Ver.1.3への対応、HL7規格日本語見直し版への対応、コード表へのOIDの付番、などを行い、年度内にJAHIS標準として**最終原案完成予定**

## (2) 実装システムの検証

### ① 「JAHISデータ互換性実証実験2021」の開催

- 開催期間: 2/17～2/22の4日間
- 開催場所: 完全リモート開催
- 実施テーマ: (1)患者情報(基本、身体情報) (2)病名情報 (3)処方情報
- HISベンダ4社が参加する予定
- トピック:
  - (1)HL7 FHIRによるデータの**エクスポート**(JP Coreにできるだけ準拠)
  - (2)審査支援システムの**HL7 FHIR**対応

## (3) 標準化の普及推進

- **HL7 FHIR**日本実装検討WG、**JAMI FHIR記述仕様**検討WG、ヘルス&ケアデータプロセス国際規格化モデル策定分科会等への委員派遣
- 第41回医療情報学連合大会: 日本病院薬剤師会との共同企画の共同座長共同企画5「**薬剤関連情報の記録における課題 —医薬品の履歴の在り方を考える—**」(11/19)
- 9年連続となる「**薬剤に関する医療情報セミナー**」の開催(2/28)(**予定**)
- **IHE International**へのJAHISとしての加入

～ 今年度同様、以下のような活動に取り組む予定 ～

## (1) JAHIS標準類の策定

- データ交換規約の共通的な課題に取り組む。
- 既存の標準類については、制定後3年経過を目途に改版を行う。  
(**病名情報、処方データ、注射データ**)
- 新たなテーマについて、部会や委員会を超えて合同で検討を行う。

## (2) 実装システムの検証

- 過去16年間(実証事業の3年間を含む)行ってきたJAHISデータ互換性実証実験を継続し、**HL7 FHIR**ベースのテーマ(**診療情報提供書など**)に取り組む
- 各種ツールの整備やテーマの拡大、**HL7 FHIR**対応も図る。

## (3) 標準化の普及推進

- 他の標準化プロジェクトや団体で策定された標準類との整合を図りながら、関係者と密接に連携して普及活動を行う。**セミナー(講習会)**等も企画する。
- **IHE WG**を発足し、**IHE International** の国際会議への委員派遣や投票活動を行う。得られた知見をJAHIS標準の改善、最新技術に基づく新たなJAHIS 標準類の制定などに役立てる。



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

ご清聴ありがとうございました

© JAHIS 2022



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

© JAHIS 2022